

10人の学生スタッフが等身大の目線で取材した

山口県の 元気企業レポート 2016



山口県若者就職支援センター
YYジョブサロン

YYジョブサロン

検索

<http://www.joby.jp/>

この冊子は、山口県内の大学に通う10人の学生のみなさんが
山口県の元気企業で活躍する人々取材・撮影して完成した情報誌です。
自らの足で企業を訪問し、たくさんの人に出会い、
そこで感じた働くことの大変さや楽しさを
等身大のレポートとしてまとめてくれました。
皆さんの就職活動の参考になれば幸いです。



10人の学生スタッフが等身大の目線で取材した

山口県の 元気企業レポート 2016

CONTENTS

社会福祉法人 暁会	2
あさひ製菓株式会社	3
株式会社 アデリー	4
株式会社 宇部情報システム	5
株式会社 エフエム山口	6
株式会社 エムビーエス	7
生活協同組合コープやまぐち	8
株式会社 太陽家具百貨店	9
株式会社 中特ホールディングス	10
株式会社 豆子郎	11
西日本オフィスメーション株式会社	12
東山口信用金庫	13
社会福祉法人 ひとつの会	14
株式会社 防長トラベル	15
株式会社 毎日メディアサービス山口	16
株式会社 丸久	17
株式会社 ミッドフォー	18
山口朝日放送株式会社	19
株式会社 山口グランドホテル	20
山口日産自動車株式会社	21
取材後記	22

:Company Name

社会福祉法人 暁会

:Personal Data



Koji Sakota

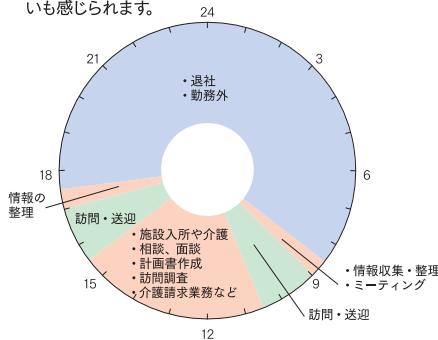
「どうすればできるか」を常に考えて行動する。

仕事のモットー

「できない理由を考える前に、出来る方法を考える」福祉・介護の仕事は、ご承知の通り人を手助けする仕事です。利用者や家族が望む暮らしを支えるうえで、自分が「出来ない」とあきらめてしまえば、利用者は生活がし辛くなってしまうこともあります。「どうすればうまくいくか」を常に考え行動しています。

うれしかったこと

利用者やご家族から、感謝の言葉や励ましの声をかけていただいた時、うれしく感じます。福祉・介護の仕事はゴールの見えない仕事で、自分が行った支援が正しいかわかりにくいこともあるのですが、利用者から笑顔を見せていただくと、「この仕事を選んで良かった」とやりがいも感じられます。



:Profile

迫田 宏治さん(36歳)

特別養護老人ホーム フェニックス一の宮 課長
山口県下関市出身
九州看護福祉大学 看護福祉学部 社会福祉学科卒

:Company Profile



社会福祉法人 暁会

社会福祉法人暁会は高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉に取り組み、地域の医療福祉に貢献します。という基本理念のもと、施設サービス、在宅サービスを総合的に展開しています。

- 事業内容 / 高齢者及び障害者の在宅サービス並びに施設サービスによる介護事業
- 設立 / 平成8年1月
- 本社所在地 / 下関市大字小野85-1
- 代表者 / 理事長 吉水 一郎
- 従業員数 / 566名(うちパート84名)
- 事業所 / 下関(特別養護老人ホーム フェニックス) 防府(養護老人ホーム やはず苑) 東京(メディカルケアタウン 東大島)

お問い合わせ先

担当/フェニックス事務課 小川 勝
TEL 083-256-5336
E-mail akatsukikai@akatsukikai.com
http://www.akatsukikai.com/

Interview



ひとりひとりの暮らしを支えるという仕事。

地域密着型特別養護老人ホーム「フェニックス一の宮」で生活相談員として勤務する迫田さん。生活相談員の仕事は「なんでも屋さん」だという。主な仕事は、職員の連携調整や入居希望者・入居者からの相談を受けることなど。十人いれば十通りの生活があるように、相談者からの悩みや要望も様々で、時には難しい要望もあるそうだ。そんな時は、それぞれの入居者が納得して心から幸せに感じられる暮らしを実現できるよう尽力している。

「入居者の方々が尊厳を持って生活できるよう、住まう場所は違っても、入居者さんがしたい生活をできるだけ叶えられるよう、一人ひとりの暮らしを支えたい」と迫田さんは語る。

大事なのは、入居者の求めるものの変化についていくこと。

暮らしを支える上で欠かせないのが、入居者の方々の求めるものを捉え続けること。これまでの入居者は大正生まれや戦前に生まれた年代の方がほとんどだったが、最近では50代で介護が必要となり入居される方もいる。本人の希望があれば一緒に買い物に出かけたり、好きなものを食べたりと外出の希望を叶えるサポートも行なうそうだ。

近年では、急激に趣味の幅も広がり、それぞれが思い描く生きがいのある暮らしの形もさまざま。「10年前と今では入居者の求めるものは大きく変化していると思います。それなのに、今から10年後もずっと同じサポートの仕方をしていけば、いつか時代とずれてしまうのではないのでしょうか。入居者さん一人ひとりの求めるものを追い続け、本当の笑顔を引きだしていきたいですね」そう語る迫田さんからは入居者の方々への愛情が伝わってきた。

:Company Name

あさひ製菓株式会社

:Personal Data



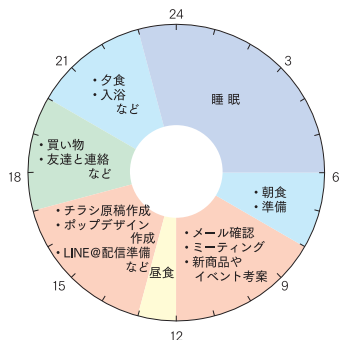
あの人に頼めば大丈夫。そんな信頼のある人に。

仕事のモットー

丁寧に。確実に。イベントの計画、チラシやPOPの作成、お客様や店舗スタッフからの問い合わせ対応...どれも間違えたり遅れたりすると、お客様やスタッフに迷惑がかかります。“あの人に頼めば大丈夫”そんな頼りがいのある人になりたいです。

うれしかったこと

入社2年目に、周南にある果子乃季遠石店のリニューアルに携わりました。わからない事だらけでしたが、イチゴのオブジェに乗って可愛い店舗がオープンしたときは、とてもうれしかったです。今は、後輩たちが店舗開発やイベントの企画を立てているときに、楽しそうに色々な案を出しているのを見ると嬉しいです。



:Profile

宮川 葉子さん(30歳)

販売管理部 販売企画課 課長
山口県宇部市出身
宇部工業高等専門学校専攻科 経営情報工学専攻卒

:Company Profile



あさひ製菓 株式会社

“果子乃季”や“シュシュ”焼きたてベーカリー“シュクルヴァン”を県内に展開。安心・安全はもちろん、時代に合った商品づくり、店づくりを心掛け、お客様の“笑顔”のために全力を尽くしています。

- 事業内容 / 和洋菓子の製造販売
パンの製造販売 他
- 設立 / 昭和24年3月
- 本社所在地 / 山口県柳井市柳井5275
- 代表者 / 坪野 恒幸
- 資本金 / 1000万円
- 売上高 / 27億円
- 従業員数 / 412名(うちパート134名)
- 事業所 / 果子乃季34店舗、シュシュ3店舗
シュクルヴァン5店舗
他県内に47店舗

お問い合わせ先

担当 / 人事部 有海 竜美
TEL 0820-22-0757
E-mail soumu@kasinoki.co.jp
http://www.kasinoki.co.jp/

:Interview



お菓子屋さんになるのが夢だった。

山口県内で和洋菓子店を展開するあさひ製菓。近年はネット販売も行っており、クチコミで全国にもその名は広がって来ている。「小さい頃からお菓子屋さんで働くのが夢だったんです」と笑顔で語ってくれた宮川さん。

今の主な担当はベーカリー部門の販促活動。「学生時代に学んだマーケティング手法を活かしたいと考えていました。入社後すぐ配属されたのはシステム管理部。ネット販売に関わる部署で、主にWebデザインやネット上での販促活動に携わりました。デザイン業務は入社してから上司につきっきりで教えてもらい…今では店舗のPOPやチラシも作っています。」

若手社員のアイデアを取り入れ、挑戦する場を与えてくれる会社。

2014年にオープンした「果子乃季宇部ファーム店」。菓子屋なのに、農園やカフェ、ガーデニング雑貨の販売なども行う。宮川さんは、立ち上げプロジェクトメンバーの一員。あさひ製菓では、店舗のデザインやインテリアまで全て社員のアイデアで決められている。

「関西方面への視察から始まりました。『農園をやろう!そこで採れた野菜や果実を使った商品を提供しよう!』というアイデアは京都にある高級野菜店で聞いたんです」プロジェクトメンバーのほとんどは若手社員。「仕事を任せてもらえ、アイデアをしっかりと取り入れてくれる。ベテランの上司がしっかりとサポートしてくれるので、安心して自分のやりたいことに取り組めるのは、この会社の魅力です。」と宮川さんは話してくれた。

:Company Name

株式会社 アデリー

:Personal Data



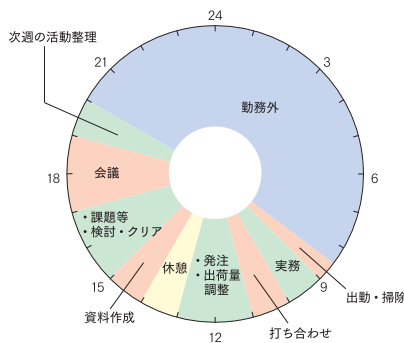
仲間との信頼関係の構築が仕事の充実に。

うれしかったこと

メンバーに責任のある仕事を渡していくのは結構大変なのですが、マニュアルと指導で仕事を引き継ぎ、自分が求めている以上の仕事をこなしてもらっているのを実感した時はとてもうれしいです。お互いの信頼を実感できるときに仕事への充実感も感じます。

学生の皆さんへメッセージ

なんとなくではなく、必ず目標を持って日々を過ごしていってほしいです。日々小さな行動や努力を積み重ねていくと必ず成長につながり、自分が思っている以上の結果が出てくるはず。努力は必ず実績につながると信じて頑張ってください！



:Profile

田坂 義典さん(35歳)

CS調達課 課長
山口県柳井市出身
近畿大学卒

:Company Profile



株式会社 アデリー

アイデアとチームワークで日本一の高付加価値流通業を目指しています。アデリーは『おいしいをデザインする食の総合プロデュースカンパニー』です。

- 事業内容 / 食料品に関する商品開発・販売企画
カタログ制作・流通販売及びロジスティクス
- 設立 / 昭和52年3月
- 本社所在地 / 柳井市柳井1171番地1
- 代表者 / 小野 典子
- 資本金 / 1億円
- 売上高 / 45億5千万円
- 従業員数 / 170名(うちパート95名)
- 事業所 / 東京支店、大阪支店、福山支店、山口支店
ギャラリー&ギフト アド、ホシフルーツ

お問い合わせ先

担当/総務経理課課長 高河 利彦
TEL 0820-23-7711
t-takagawa@ad-e.co.jp
http://www.ad-e.co.jp/

:Interview



会社の「流れ」をつくる役割を担おうと立候補。

ギフト店舗からスタート、現在は通販事業を拡大、企業の販促物まで手掛けるアデリー。メインのグルメやスイーツのカタログギフトでは、企画から販売まで自社で一貫してサービスを提供している。

田坂さんは、お客様対応の責任者として、顧客サービスの改善を日々行なう。受注窓口としての役割と、仕入先との連携を図る役割がある。実は、営業としてスタートした田坂さん、「会社の成長段階で、営業のといった注文を実務に受け渡す「流れ」をつくる役割が必要。どちらの気持ちも理解できる自分がそのパイプ役になろう」と今の役職に立候補したそうだ。

メンバーの成長が自分の喜び。みんなが個性を活かせる環境を作りたい。

田坂さんは、会社が活性化するためには、個人が成長することが重要だと考える。個人の成長の秘訣は、自分自身で考え、やる気を持って、失敗しても前向きに進むこと。「メンバーが成長した時に一番喜びを感じる。私の仕事は皆が個性を活かせる環境を作ることですね。」と話す。一番の資源は「人」であるというのがアデリーの考え方。「生まれ育った土地で、自分の努力次第で成長できる。中小企業が多いから、売り上げを伸ばす余地がある。地元つながりから、コミュニケーションも円滑になります。」山口の会社で働いて良かったと感じる現在。「部署を超えた大きなグループをマネジメントし、売り上げが100億円になっても運営できる体制を作りたい。」これが田坂さんの10年後のビジョン。個人が成長できる恵まれた環境と、やる気にあふれた社員の集うアデリー。その目標の達成はもったいないかもしれない。

:Company Name

株式会社 宇部情報システム

:Personal Data



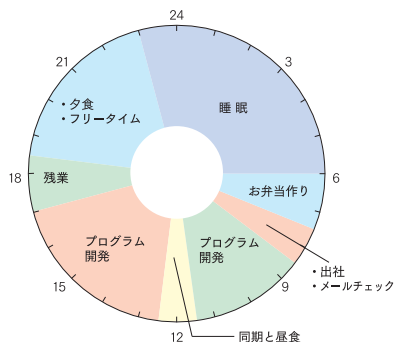
**失敗は繰り返さない。
反省を活かして成長する。**

仕事のモットー

「失敗を繰り返さない」
入社1年目なので、日々勉強の毎日ですが、仕事をしていて知識不足が原因で行き詰ることがあります。そこで、行き詰った原因に対する解決策・気づきをノートに書き留めて、同じ失敗を繰り返さないよう心掛けています。

うれしかったこと

所属する部で扱う商品の業務知識を深めるために、部内で先輩社員に商品のデモ操作説明会を行ったことがあります。説明会後に、先輩社員の方々からご助言をいただいたが、分かりやすかったと褒めていただきました。



:Profile

古野 和貴さん(24歳)

製造ソリューション第1部
大分県宇佐市出身
山口大学大学院 理工学研究科 環境共生系専攻卒

:Company Profile



株式会社 宇部情報システム

当社は宇部興産グループのIT企業です。宇部興産グループのほか、広く一般企業のお客様からの受託開発や専門性の高いパッケージ開発など、様々なプロジェクトを手掛けています。

- 事業内容 / 情報処理サービス業
(受託開発システム商品、CAE、情報処理サービス等)
- 設立 / 昭和58年9月
- 本社所在地 / 宇部市
- 代表者 / 栗山 顕蔵
- 資本金 / 1億円
- 売上高 / 60億円 (2014年度)
- 従業員数 / 360名 (うちパート33名)
- 事業所 / 本社、東京オフィス、大阪オフィス、周南オフィス

お問い合わせ先

担当 / 人事・総務部 柳
TEL 0836-22-0111
E-mail uis-jinji@uis-inf.co.jp
http://http://www.uis-inf.co.jp/

:Interview



開発のカギは、チーム内のコミュニケーション。

宇部情報システムは製造業の研究開発から業種・業界に特化した専門性の高いパッケージ開発や受託開発、システム導入や運用サービス等を総合的に行う情報サービス企業。開発に必要なのは多くの協力。日々の業務は顧客やプロジェクトメンバーとの打ち合わせを重ねながら進んでいく。

オフィスの中で常に交わされるコミュニケーション。昼夜無言でキーボードを叩くプログラマーのイメージとは違う光景だ。「こうして開発したシステムが使われて不可能が可能になる。それが仕事のやりがいです。今はまだ、開発をする立場だが、早く現場でお客様と直接話して要望に応えるプログラムを提案していきたい。」と古野さんは語る。

考えを書き出し整理・確認する。それが効率の良いシステム開発につながる。

宇部情報システムが求める人材は、①意欲・やる気・好奇心がある。②コミュニケーション能力がある。③論理的思考力があるの3点だそう。多くの学生がシステムエンジニアに不可欠だと思っている技術力は二の次だという。

入社1年目の古野さんは「論理的思考がまだまだ」と厳しい自己評価を下す。「まずは、考えを書き出していくこと。それが、整理と確認をしやすくするんです。」結果として、効率のよい開発の進めかたの秘訣にもなる。

古野さんの効率重視の姿勢は私生活にも。退社後には、社内のバドミントンサークルで汗を流し、休日には趣味の釣りやボルダリングなどアウトドアを楽しむ。「人間は機械じゃない。上手な切り替えが集中した作業を生むと思います。」と教えてくれた。

Yamaguchi Genki Company Report 2016

:Company Name

株式会社 エフエム山口

:Personal Data



Tomomi Nakamura

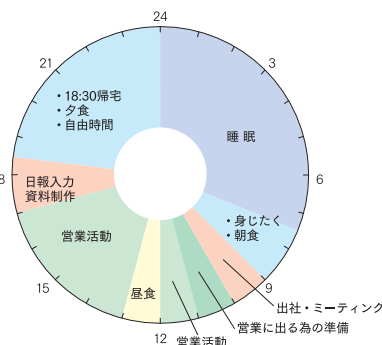
ラジオの魅力を伝えるのが、私の仕事。

うれしかったこと

一番嬉しかったのは、初めて自分の力で新規のお客様と取り引きできた時です。そのお客様に「FM山口に広告を出して良かった」と喜んで頂いたことが、現在の仕事の糧になっています。

仕事のモットー

相手の話をしっかり聞くことを心がけています。取引先や社内の人とコミュニケーションをとる上で、相手の話をしっかり聞き、話の意図をきちんと理解することが一番大事だと考えています。



:Profile

中村 知美さん(24歳)

営業部
山口県山口市出身
大阪大学外国語学部卒

:Company Profile



株式会社 エフエム山口

1985年12月1日、全国20番目のFM局として産声をあげたエフエム山口は、今年度開局30周年を迎えることが出来ました。地域に密着した番組プログラム・イベントを通じて山口県を元気に盛り上げます。

- 事業内容 / 山口県全域をサービスエリアとするFMラジオ放送
- 設立 / 昭和60年4月
- 本社所在地 / 山口市緑町3-31
- 代表者 / 藤井 正史
- 資本金 / 495百万円
- 売上高 / 535百万円
- 従業員数 / 15名(うちパート1名)
- 事業所 / 本社(山口) 支社(東京)

お問い合わせ先

担当 / 総務部 森重 隆政
TEL 083-923-2100 (代)
<http://www.fmy.co.jp/>

:Interview



相手の話をよく聴ける「聞き上手」な営業に。

「中学生の頃からラジオはよく聴いていて、身近な存在でした」と話す中村さん。テレビ離れ、ラジオ離れが顕著な世代のなか、放送業に携わることはひとつの夢だった。

現在は、山口県全域を放送エリアとするエフエム山口の営業部に勤務している。同社では唯一の女性営業。県内放送局の中でも、女性営業は珍しいそうだ。業務は、外回りが中心で、企業にラジオ広告を提案する。飛び込み営業も少なくない。

営業で心がけているのは、「自分が一方的に話すのではなく、相手の話を笑顔で聞くこと。」実直な印象の中村さんは、今日も多くの人の話を聞くために県内を走り回る。

ラジオは、魅力のあるメディア。もっと多くの人にラジオの良さを伝えたい。

ラジオを聴く人が減少し、企業から「この時代にラジオCMに意味があるのか」と尋ねられることもある。「ラジオはパーソナリティとリスナーの距離が近いメディア。自分がその魅力を伝えたい」。だからこそ企業から「ラジオCMの反応があったよ」と言われた時はうれしく、次のやりがいにもつながっているそうだ。

将来は安心して仕事を任せられる、頼られる人材を目指す。

大学時代はモンゴル語を専攻したり、オーケストラ部に所属していたりと意外な過去を持つ。そこで経験したことは、今でも苦難を乗り越えられる力につながっている。実は大学卒業後、他の企業に勤めていたという中村さん。この仕事についてまだ一年。将来は安心して仕事を任せられる、頼られる人材になることを目標にしている。

株式会社 エムビーエス



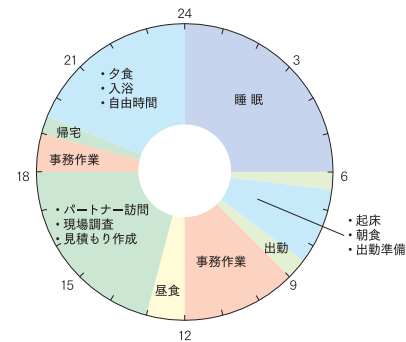
独自の技術と社員の 魅力で成長していく。

仕事のモットー

「目配り・気配り・心配り」です。会社という組織として仕事するうえで自分だけを見るのではなく、周りを見ながら相手の気持ちを読み取り行動することを心掛けています。お客様に商品を売り込む際に自分の意見だけを押し通し営業するのではなくお客様が今何を一番必要としているのかを一番考え営業し、社会や会社に貢献できるようにと考えています。

うれしかったこと

営業をしているのでやはり顧客満足を第一にしている為、お客様からの満足の声が聞けたときが一番嬉しいです。笑顔で「ありがとう、野村さんに頼んでよかった」と言われた時は嬉しかったですし、自分のモチベーションが上がるのと仕事のやりがいを感じます。



:Profile

野村 一朗さん(26歳)

本店営業部
兵庫県加古川市出身
神戸学院大学 法学部 法律学科卒



株式会社 エムビーエス

山口県宇部市に本社を置く「外壁及び諸建造物のリフォーム」を専業とする会社。特許技術である「ホームメイキャップ」と「スケルトン防災コーティング」をコアコンピタンスとし業容を拡大中。

- 事業内容 / 住宅及び諸建造物の外装・内装
リフォーム工事業
建築工事業
- 設立 / 平成9年6月
- 本社所在地 / 山口県宇部市小串74-3
- 代表者 / 代表取締役 山本 貴士
- 資本金 / 3億3,516万4千円
- 売上高 / 18億4,900万6千円
- 従業員数 / 80名(うちパート4名)
- 事業所 / 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、広島県、山口県、福岡県に計12支店

お問い合わせ先

担当/管理部 光永 博子
TEL 0836-37-6585
E-mail info@homemakeup.co.jp
http://www.homemakeup.co.jp

:Interview



世界に誇る独自技術と家族のような絆が我が社の強み。

建設業界の常識を変え、成長を続ける株式会社エムビーエス。建築物の壁を長期間守る特殊コーティング材を使った「ホームメイキャップ」や、コンクリートを塗るだけで強化することのできる「スケルトン防災コーティング」などの独自技術を持つ。建物を壊さず有効利用する「列島リフォーム」という目標を、革新的な技術で実現を目指している。

「我が社の魅力は独自の技術だけじゃない。働く社員も魅力のひとつなんです。」という野村さん。社員は家族のような存在だそう。休日にバーベキューやフットサルをしたり、新入社員歓迎会ではお花見も。取材時も社内の温かさを目で見て感じ取ることができた。

目標は、自分の生まれ育った街に支店を開設し、支店長になること。

営業職に就く野村さんは、お客様や同僚とコミュニケーションを取る中で目配りや気配りを大切にしている。お客様の要望を言葉からだけでなく表情などからも読み取り、お客様が考えていることを引き出す。そうすることでお互いどうしたいのかを具体的にイメージできるという。

やりがいは、施工後にお客様の喜ぶ姿を見たり感謝の言葉をもらったりすること。目標は、支店長になることだ。エムビーエスには、今ある12支店から50支店まで増やす計画がある。その支店を野村さんの出身地である兵庫県に出し、自分が支店長になる。入社当時から、「新入社員全員が幹部候補」という会社の方針の中励んできた野村さんにとって支店長は大きな目標だ。部下を育成することは難しいが、先輩が自分を育ててくれた姿を手本にしながら、今いる後輩を育てている。

Yamaguchi Genki Company Report 2016

:Company Name

生活協同組合コープやまぐち

:Personal Data



Kenshiro Fukuda

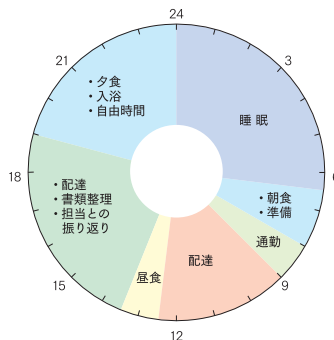
地域の皆様の暮らしに
貢献できる仕事。

うれしかったこと

自分が届けた商品やオススメした商品を利用された方に喜んでいただけたこと。実際に組合員さんの生の声を聞けるので、それが自分のやりがいや学習意欲につながります。

学生の皆さんへメッセージ

生協は組合員さんと職員と一緒に活動している組織です。組合員さんの喜びの声や不満の声をしっかりと聞いて、それを更なるお役立ちにつなげていくというのは大変な面もありますが、その分やりがいもあります。地域の皆様の暮らしに貢献したいという方にぜひ生協職員の仲間になってほしいです。



:Profile

福田 健志郎さん(27歳)

山口センター 宅配チームリーダー
山口県周南市出身
広島修道大学 商学部 商学科卒

:Company Profile



生活協同組合コープやまぐち

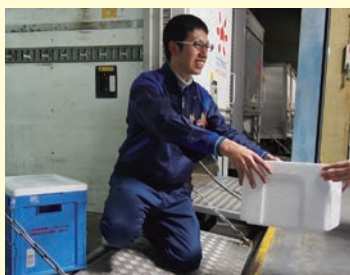
地域の人々の暮らしに寄り添い、一人ひとりの声を大切に、喜んでいただける事業や運動を山口県内で進めています。

- 事業内容 / 宅配事業・店舗事業・共済事業・夕食宅配事業
- 設立 / 昭和38年8月
- 本社所在地 / 山口市小郡上郷901-21
- 代表者 / 理事長 岡崎 悟
- 資本金 / 74億67百万円
- 売上高 / 182億63百万円
- 従業員数 / 708名(うちパート493名)
- 事業所 / 下関市・山陽小野田市・宇部市長門市・萩市・山口市・周南市・光市・田布施町・岩国市

お問い合わせ先

担当 / 人事教育グループ 原岡 辰也
TEL 083-995-3655
E-mail saiyoy@yamaguchi.coop
<http://yamaguti-coop.or.jp/>

:Interview



組合員さんとの交流で得た「声や思い」を活かしていく。

コープやまぐちは、組合員と職員が一丸となって地域の活性化や暮らしを豊かにするための取り組みを行う組織である。コープの店や宅配を見かけたり、利用したことがある人も多くいるはず。その他にも、組合員活動の中で平和活動や環境活動、地域活性化など豊かな暮らしに向けた取り組みを幅広く行っている。

組合員さんが注文した商品を自宅に届ける宅配チームのリーダーをしている福田健志郎さん。ただ商品が届けるだけではなく、直接組合員の人と交流をすることで声や思いを聞き取り、より良い組織づくりを目指している。また、宅配員としてだけでなくチームリーダーとしての仕事もある。同チームの4人のトラックに同乗し、仕事を見ることが、組合員との関わり方を指導しながらサービスの向上を行っている。



相手の思いに「気づける感性」「気づける力」が大事。

福田さんは「毎週同じ組合員さんの所へ行くことで、深く交流することができます。組合員さんのために、より良いことは何か自分で考えながら仕事ができるんです。」とやりがいを語る。

コープやまぐち山口センターが宅配を行っているのは、約9,800人にもものぼる。そして9,800人いると9,800通りの対応が必要であるという。組合員の人々がオススメしてくれた商品を自分も食べて感想を伝える。逆に自分がレシピを提案してその感想を次の週に言ってもらえる。そうしたコミュニケーションを福田さんは大切にしている。重要なのは相手の思いに「気づける感性」「気づける力」だと語っていた。

最後に組織のアピールを頼むと「地元が好きで、人と接するのが好きな人はぜひ来てください。たとえ人と接するのが苦手でも、話そうという意思のある人であれば大丈夫です。」とはにかみながら締めくくってくれた。

:Name

株式会社 太陽家具百貨店

:Personal Data



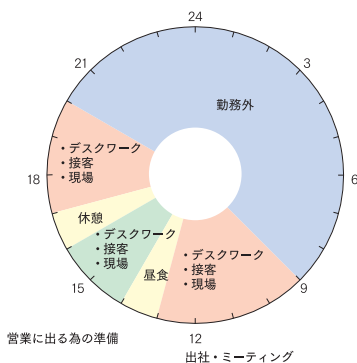
一生懸命な姿勢が掴んだ今の自分。

仕事のモットー

当たり前のことですが、目の前の仕事を本気でやることです。そうすることで、次の仕事につながるが多いですね。また「バランス感覚を大事に」しています。インテリアのコーディネートには絶対に必要なことですし、人付き合いにもバランスは大切です。

うれしかったこと

メールや手紙等でお礼を言われた時です。「赤城さんに出会ってなければ、この家具とも出会ってなかった」と言われたときは本当に嬉しかったですね。



:Profile

赤城 智恵子さん(48歳)

宇部本店チーフインテリアコーディネーター
山口県岩国市出身
神戸松蔭女学院大学卒

:Company Profile



株式会社 太陽家具百貨店

太陽家具は、東は岡山から西は福岡・大分・熊本まで全20の店舗展開により様々な人々の視点に立つて幅広い商品構成の中から選りすぐりの家具やインテリアを提案する接客販売を行っています。ただ商品を売るのではなく、「お客様の未来の生活のサポートをする」姿勢で全従業員が仕事に臨んでいます。

- 事業内容 / 家具・インテリアの販売専門店です
- 設立 / 昭和38年7月(創業:昭和22年)
- 本社所在地 / 宇部市東藤曲2丁目5番30号
- 代表者 / 川崎 敦祥
- 資本金 / 1億円
- 売上高 / 65億円
- 従業員数 / 270名(うちパート19名)
- 事業所 / 山口県内8店舗および本社、県外12店舗、配送センター2事業所

お問い合わせ先

担当/総務部 城本 英一郎
TEL 0836-21-8131
E-mail e.jomoto@taiyo-furniture.com
<http://www.taiyo-furniture.com/>

:Interview



経験やスキルを活かせる場所として転職

山口を中心に県内外合わせて20店舗を持つ「太陽家具百貨店」。特に、地元である山口県内では大きな信頼を得ている会社だ。本社のある宇部店で、チーフ兼インテリアコーディネーターとして活躍されているのが赤城さんである。

元々インテリアや家具、建築が好きだったという赤城さん。以前は、建築設計事務所で働いていたという経歴を持つ。「自分が今までやってきた仕事、能力を活かせる会社」と同社に入社した理由について語ってくれた。



大切なのは家具のサイズ感やバランス感覚。

インテリアコーディネーターは、接客・販売から、法人へのインテリアプランの提案、一般のお客様のトータルコーディネートのご相談や提案を行う。

時には、お客様の家まで出向き、部屋を見ながら相談を受けることも。受けた依頼には全力で取り組むため、夜遅くまで職場に残って作業をしていることもしばしばある。

また、仕事上で大切にしているのはバランス感覚。「バランスの良い家具を上手くレイアウトするとよく見える。(家具が)小さいと貧相に見えたり、サイズは凄く大事」と語る言葉からは、資格よりも経験が大切という赤城さんなりのこだわりが感じられた。

:Company Name

株式会社 中特ホールディングス

:Personal Data



Yurika Hayashi

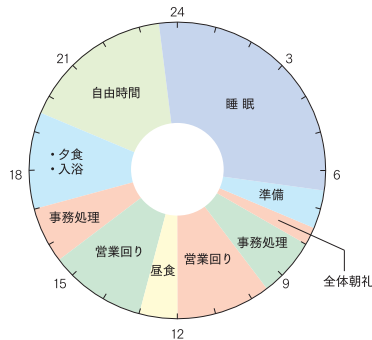
地域に必要とされる 仕事だから 満足いくまでお手伝い

仕事のモットー

未来の自分が後悔しないように働くことです。後になってもっと努力できなかったか、できることはなかったかと思ってしまうたくない。なので、何事も自分が後悔するか否かを常に頭に入れてながら日々行動しています。

うれしかったこと

何回かお仕事させてもらったお客さんに「林さんをお願いしたい」と言って貰ったことですね。自分の営業活動が報われたと感じると同時にもっと頑張ろうとモチベーションアップになりました。



:Profile

林 由更加さん(23歳)

CS営業部
山口県下松市出身
関西大学経済学部卒

:Company Profile



株式会社 中特ホールディングス

中特グループの“使命”は「生活環境革命で人々を幸せにする」。限りある資源を大切にしながら、より良い環境を作り育て次世代につなぐために…。今までにない発想力で人々を幸せにする生活環境を作ります。

- 事業内容 / 廃棄物処理、リサイクル事業、下水道維持管理、環境コンサルティング
- 設立 / 昭和41年2月
- 本社所在地 / 周南市大字久米3078-1
- 代表者 / 橋本 ふくみ
- 資本金 / グループ計 1億6500万円
- 売上高 / 12億円
- 従業員数 / 99名 (うちパート12名)
- 事業所 / 本社 (周南市)、下松リサイクル工場

お問い合わせ先

担当 / 総務管理部 久保 智
TEL 0834-26-0500
E-mail info@chutoku-g.co.jp
http://www.chutoku-g.co.jp/

:Interview



お客様の満足のためにできることを。

中特ホールディングスは、周南市を中心に、廃棄物の処理やリサイクルに取り組んでいる企業。「生活環境をよりよくなる」をモットーに、人からは目を向けられにくいところに着目した事業を展開している。

CS営業部の一員として働く林さんは、事業所や企業などを相手に営業を行う。CSとはカスタマー・サティスファクションの略称。顧客の満足を作り出すために、努力は惜しまない。

社長の人柄に惹かれて。

もともと地元での就職を考えていたという林さん。就職活動をしている際、中特グループ社長の話を聴き「社長の仕事への熱意や人柄に惹かれて、この会社で働きたいと思った」と笑顔で語る。入社するまで、どんな仕事があるのかは知らなかったようだ。

現在では「『あなたに仕事を相談したい』と言われることもあり、私個人を頼ってもらえることにやりがいを感じている」。将来は、顧客と互いに支え合える“パートナー”のような関係を築ける営業社員を目指している。

仕事に理系文系は関係ない

企業が目指すものに惹かれて仕事を選んだこともあり、「仕事に理系も文系もない」と感じている。学生には、自分の視野を広げて挑戦し続けていってもらいたい、という。

株式会社 豆子郎



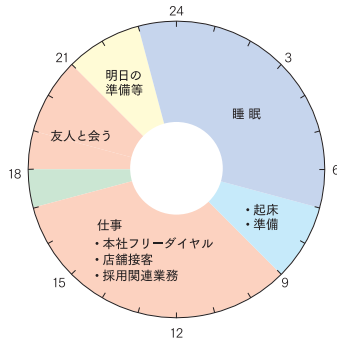
お客様と真剣に 真っ直ぐ向き合う。

仕事のモットー

何事も前向きに捉え、会社軸で考えることを心掛けています。株式会社豆子郎で働く一社員として自分軸で考えるのではなく、会社軸で考えるとどうなのかを常に考え取り組むよう意識しています。

休日の過ごし方

私は社会人になり、休日の過ごし方が変わりました。学生時代とちがいで、休みが限られているため、事前にプランニングをして過ごすようになりました。最近は友人や同期とドライブしたり、一人で映画を見に行ったり、趣味の時間も取るようにしています。



:Profile

藤野 毬子さん(23歳)

総務部
山口県山口市出身
山口県立大学 国際文化学部 国際文化学科卒



株式会社 豆子郎

経営理念に『お菓子を通じてお客様の喜びと幸せに貢献する』を掲げ、商品・空間・人を通じて文化の継承、創造、発信を行い続けながら創業100周年を目指しています。

- 事業内容 / 山口の銘菓「豆子郎」をはじめとした、各種和菓子の製造・販売。
- 設立 / 昭和23年
- 本社所在地 / 山口市大内御堀33番地
- 代表者 / 新田 薫
- 資本金 / 1000万円
- 売上高 / 非公開※当社規定による
- 従業員数 / 108名
- 事業所 / 山口市本社、県内直営13店舗

お問い合わせ先

担当 / 総務部
TEL 083-922-5655
E-mail info@toushirou.info
http://www.toushirou.info/

:Interview



お客様の喜びと幸せに貢献する。

「豆子郎」。駅の店舗や広告でこの名前を見かけたことがあるだろう。豆子郎は、山口の銘菓「豆子郎」をはじめとした各種和菓子の製造・販売を行う会社である。

豆子郎には、製造・出荷・営業・総務と4つの部署がある。その中の総務部に所属する藤野さん。普段は、フリーダイヤルで注文や問い合わせの対応や店舗で商品の販売をするなど、お客様と直接やり取りを行う仕事をしている。そんな藤野さんがこの仕事にやりがいを感じる瞬間はやはり、お客様に喜んで頂けた時。「お客様から頂いたお礼の手紙はいつも持ち歩いているんですよ」と話す藤野さんの笑顔はとても輝いていた。

会社の理念が私の目標。

この会社を選んだ理由はズバリ「会社に惚れた」から。「お客様の喜びと幸せに貢献する」という豆子郎の経営理念に共感して入社を決めた。豆子郎で働くことで自分自身もなりたいたい自分へと成長していける。豆子郎は人を大切にする企業であり、その中でお客様ひとりひとりと真剣に真っ直ぐ向き合うことが、この仕事のやりがいであり魅力である。

豆子郎は現在「さあ行こう!愛と伝統の100年企業へ!」をスローガンとして掲げ、初心を忘れずお客様の喜びのためにモノ作り・コト作りをする100年企業を目指している。「私たちは企業と書いてファミリーと呼びます。企業がより信頼関係を結び、まさに家族のような会社になる。そう考えるとワクワクしませんか?」。最後にそう語ってくれた藤野さんの目標は、より会社の理念を体現できるような人になり、豆子郎の目指す100年企業へ貢献することだそう。

:Company Name

西日本オフィスメーション株式会社

:Personal Data

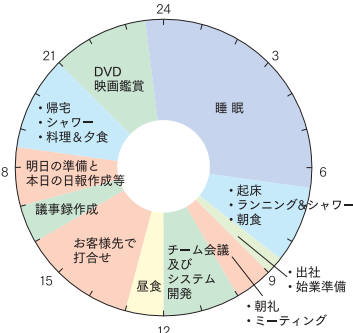
人間力が売り!
地元密着型の企業。

仕事のモットー

どのような仕事でも常にベストを尽くすことをモットーにしています。システムエンジニアとして7年経験を積んできたので慣れている仕事もあります。でもどんなに慣れていることであっても丁寧にならなくて、100%の作業で仕事を完了することを常に心がけています。

学生へのメッセージ

入社してから分からないことがたくさん出てくると思いますが、とにかく「分からないことはすぐに聞く」ことを心においてください。また、どんな仕事も楽なことはないので、コミュニケーションを大切に、自分が生きがいだと思う仕事を見つけてほしいです。



:Profile

末吉 充さん(29歳)

ソリューションシステム部
山口県宇部市出身
島根大学 生物資源学部 生態環境学科卒

:Company Profile



西日本オフィスメーション株式会社

創業以来の基本理念を社員一人ひとりが胸に秘め、最新ICT技術をどう利用し、お客様の成長支援に繋げていけるかをシステムの面から常に提案し続けております。

- 事業内容 / 中堅企業及び社会福祉法人向けの情報システムの構築ならびにコンサルティング
- 設立 / 昭和54年7月
- 本社所在地 / 下関市一の宮町3-10-3
- 代表者 / 藤井 康郎
- 資本金 / 2,650万円
- 売上高 / 5.5億円
- 従業員数 / 34名
- 事業所 / 福岡・広島

お問い合わせ先

担当/総務部 吉富
TEL 083-256-8461
E-mail yamaguchi@form.nom.co.jp/
http://www.nom.co.jp/

:Interview



地元企業を支え、共に成長していく。

「Your growth is our business!」を社是にしている、西日本オフィスメーション。民間企業の業務をシステム化するプログラムや給与計算などのパッケージソフトを提供している。そのほかにもイベントやセミナーを主催して情報を発信している。

社員の文系・理系の割合はほぼ半々で、システム開発などに詳しい人材よりも、お客様のニーズを引き出すためにコミュニケーション力がある人材を求めている。その力はお客様と接するときだけでなく、システム開発のチーム内でも必要となる。正に、会社一丸で地元企業を支えている会社である。

働くとは、自分を磨くこと!

システムエンジニアとして働く末吉さんは「ほかの業種のことを目で見ることができると」がやりがい。プログラム開発をする上で、お客様が抱えている問題を実際に目で見ること、解決策を生み出しやすくなる。その過程で、普通なら中々入ることのできない他企業や他業種を知ることができる。

そんな末吉さんの10年後の目標は、部署間でのコミュニケーションを増やすことだ。月に1回、社内グループ会議は行われるが、現場レベルでの情報交換はすることが少ない。それを改善して、社員一人ひとりの結束を強くすることで、会社をさらに盛り上げたいと話す。

また、「働くとはどういうことか」という質問に対して、「自分を磨くこと」だと教えてくれた。まだ働くとはどういうことか知らない私たち学生に、日々の中で会社や地元企業だけでなく自分自身を成長させることができる、と伝えてくれた。